

## ニホンフラッシュ株式会社

松崎 真由瑠

ニホンフラッシュ株式会社さんは、マンション向け内装ドアを中心とした、住宅内装システムの開発から生産、メンテナンスまでを一貫として行っている住宅内装部メーカーです。

創業当初は、見込生産方式でしたが、在庫が沢山余ってしまい受注生産方式に切り替えました。

実は、ニホンフラッシュ株式会社さんの受注生産力は世界トップクラスなんです。1日で約1,700枚ほど生産しています。すべての製品に貼り付けている工夫もあります。



1つ1つの商品に番号を記録しておく事で寸法や勝手、ガラスの種類、製造日などがわかりアフターメンテナンスやリフォームの対応が素早くできるそうです。

「失敗してしまったり、落ち込んだ時にはどのように乗り越えていきますか」と尋ねると、早めのハウレンソウ(報告、連絡、相談)を心がけたり、落ち込んだりした時にはその場ではその姿を見せないようにしたりしていますと語っていました。新人の子が失敗した時には責めることもなくみんながフォローしたりするという良い会社という話も聞きました。

この会社には魅力が詰まっているのでぜひ沢山の方に知って欲しいです。

森本 一葉

ニホンフラッシュ株式会社は昭和39年9月7日に創立しました。

この会社を創立したきっかけは、当時、隣接していた合板工場の木材を使い何か出来ないかと思った結果ドアを作ろうとなったそうです。

ニホンフラッシュ株式会社は他の会社とは違い受注生産で作っている所が強みだと言っていました。初めから受注生産をしていたわけではなく、見込み生産からのスタートだったそうです。何故受注生産に切り替えたのか聞いてみると見込み生産をしている頃は売れ残った

ドアで在庫があふれかえったからだと言っていました。受注生産に切り替えてからは、ドアが売れ残ることもなくなり、多様化するニーズに対応しやすくなってメリットが増えました。受注生産にデメリットはないのでしょうか?と思いはしま

せんか。それがあられるらしいのです。ドアは1つ1つ大きさや形、色などが違うため1mm2mmの違いで変わってしまうのです。少しでも間違えると綺麗なドアが出来ずクレームに繋がりがかねません。1回1回機械の調整を変えるので時間がかかるという点がデメリットらしいです。ですが、1つ1つ手を掛けて作っているドアを長い間使ってもらえるという事は嬉しいことだと言っていました。

ニホンフラッシュ株式会社は会社の雰囲気も良く上司が気兼ねなく話しかけてくれるフレンドリーな会社だと言っていました。コミュニケーションが得意な人やドアが好きで、自道な作業が得意な人は是非ニホンフラッシュ株式会社を調べてみてください。

成川 夢羽

8月4日、ニホンフラッシュ株式会社さんに見学・インタビューに行きました。

ニホンフラッシュ株式会社さんはフラッシュドアなどを見込み生産ではなく、受注生産をしているのが特徴の会社です。受注生産で1つ

1つのドアに番号が記載されたシールが貼られており、その番号に寸法や色、住戸番号、製造日など全ての情報が入っているのです。アフターメンテナンスの際などに番号だけ分かれば全て分かるのでとても効率がよく便利です。これを行っているのはニホンフラッシュ株式会社さんだけです。

インタビュー時、たくさん質問させて頂いた中で特に印象に残っているものをいくつか紹介させていただきます。

製造の仕事の面白さは何かと尋ねてみると、モノを作り出していくこと、毎日製品ができて、取り付けられた後も毎日触って長い間使われていくことが面白いと話されました。マンションを見た時に、ここにも自分の会社のドアが使われているのかなと思うことがあるとおっしゃっていました。これは製造の会社で働いている方にしか感じられないことだと思いました。

社員とのコミュニケーションで気を付けていることは何かと尋ねてみると、話しやすい空気作りやおはようと声を掛けてみる。そうすると後輩からも声を掛けてくれると話されていました。積極的にコミュニケーションを取ろうという姿勢から、良い会社の雰囲気生まれていました。